

少年連盟だより

ののきまといっしょ

—第3号—

発行 新潟教区少年連盟
 〒940-24
 新潟県三島郡与板町
 新潟教区教務所内
 tel 0258-72-2120
 fax 0258-72-2536

単位登録校紹介

与板組隆泉寺子供会

住職 上戸 聰



隆泉寺子供会が、単位登録をしたのは一九八二年の三月のことではありますが、地域のおじいちゃん、おばあちゃん達からお話を伺いますと随分昔から続けられている子供会のようでありす。

現在は、毎週一回水曜日に「書道教室」を中心に活動をし、夏休みや春休みには、小学生、中学生とわかれていろんな場所へ学習旅行(とは言ってもただの観光ですが...)に行っております。

今、ほとんどのお寺が「土・日曜日は忙しくなかなか子供会をやりたくてもできない」と、いうのが悩みであります。せっかく長いあいだ続いてきた子供会でありますので、是非とも長いこと頑張っていきたいものです。

ご年配の方の「小さいころはみんなよくお寺で遊んだものだ」という声を考え、多くの子供さんにお寺に参っていただきたいと思うことあります。

97夏期少年研修会報告

龍大宗教育部を講師に 「いのち」について学ぶ

去る、八月二十五日〜二十六日にかけて、高柳町「県立こども自然大国」を会場に夏期少年研修会を開催しました。ここ数年來「海」を中心に活動しましたが、今年は「山」を会場に開催し、「自然探索」等を通して自然の大切さについて子供たちと考えてみました。

また龍谷大学宗教教育部から三名の学生に講師をお願いし、「いのちの尊さ」について、おはなしを頂き、またキャンプファイヤー、ゲームなど、スタッフとしても活躍を頂き、充実した研修会になったと思います。ただ、開催期日、参加経費などにより、参加者数が例年より少なく、今後の課題となりました。

そして、閉会式を前に研修会のまとめとして参加者に感想を聞いてみましたので一部を紹介いたします。



アンケートまとめ

- ①「あみだ様の願い」のお話を聞いて感じました。
- ②「いのちのとうとさ」のお話を聞いて感じました。
- ③あなた自身はいのちのとうとさをどのよう to 思っていますか。

- ①にんじんも、ピーマンも、ちゃんと命がある。だから、のこしたりすてたりするのは、ちよつとかわいそう。
- ②あみだ様は、いろいろなことを（私達のことも）心配してくれて、すごいなーと思いました。この世で、いのちがあるものをみんなまもつてくれるからです。
- ②いのちっていうものは草も木も花も動物も人間とかわりないと感じた。だから、いのちとはーってても大事で大切に思う。
- ②いのちというのは、本当にたいせつなんだとかんじた。生きている物を食べる時は「いただきます」。「ごちそうさま」の言葉をたいせつにしたい。
- ②いのちは、とてもだいじなんだなと思った。草も木もみんな生きていたんだということを少
- ③ぼくは、いのちは一つしかないかけがえのない物だから、大切にしなければいけないと思つた。食べ物も大切にしなければいけないと思つた。
- ③しょくぶつからいのちをもらっているから、せいじっぱいいきる。
- ③いのちは、やっぱり一人一つしかないきちような物だから、大事だと思つし、植物だつて生きているんだから、大切にしていきたいと思つた。
- ③にんじんとかもいのちがあるんだから、たいせつにしなきゃいけないとわかつたので、いはなしだと思つた。
- ③にんじんや、ほかの野菜も、同じいのちをもっているのだから、のこしたりしたら、せつかくの命がすてられるから、きちんとなたべた方がいいなあと思つた。

少年教化推進員養成研修会を終えて

長岡組 正覚寺 若槻 司

去る六月一七日から一九日の三日間、京都山科別院にて研修会がありました。山之内氏の勧めもあり、栄町の鈴木さんと参加してきました。自坊に入ってから一年少々、当初から子どもの集まるお寺、また境内に設置してある仏教保育の幼稚園で得たものを、小学校に行っても継続していただけるよう、何か無いかと思索していたところでした。そんな折り、このような研修会に参加できたことを深く感謝しております。

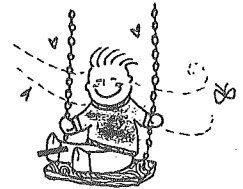
さて研修会は初日・主に講義と話し合い、二日目・野外活動等の実践、三日目・まとめの内容と取り組んでいきました。年齢的に私と近い方ばかりでしたので、各地域の活動報告や問題提起、意見交換など楽しく行われました。また野外活動の実践におきましては、ウォークラリーやクラフト等子どもたちが大変喜びそうな内容でした。

こうした内容をこなしてまず感じたことは、やはり子ども相手ですので楽しくなければならぬということとです。また広島大学松田正典先生の講義で、幼児期から青年期への発達において小学生は『集団アイデンティティ期』だそうです。精神的自律に目覚めるこの時期、さらに昨今、学校や家庭以外に居場所がない子どもたちが増えているという現実に沿う意味で子どもが楽しく過ごせる第三の場所としての役割は大きいと感じました。

はたしてどこまで社会的重責を担えるかわかりませんが、今回の研修会を糧として少年連盟を盛りたてていきたいと思えます。

蓮如上人 500 回遠忌記念 全国子どものつどいのご案内

- 期 日 1998 (平成10) 年4月2日～4月4日
- 募集人員 30名
- 対 象 小学校4年～中学校1年
小学校1年～3年の方は保護者同伴
- 経 費 40,000円
- 日 程 全行程貸切バス



1	4/2	木	与板 7:30	長岡 IC	(北陸)	米原 JCT	(名神)	京都東 IC	清水寺	西本願寺 17:30	西本願寺 門前	西本願寺門前 尾張屋 ☎ 075(361)5361
2	4/3	金	西本願寺 6:00	御晨朝 10:30	西本願寺 蓮如上人五百回御遠忌 ◎法要参拝 ◎イベント参加 ◎子供のつどい全国大会			二条城 15:00	嵐山	京都市内 17:30	京都市内 京の宿 洛 兆 ☎ 075(351)2801	
3	4/4	土	旅館 8:30	東映太秦 9:00	映画村 11:00	京都東 IC	(名神)	米原 JCT	(北陸)	長岡 IC	与板 19:00	

※ 参加ご希望の方は、所属のご寺院にお申し込み下さい。

おはなし

「ありがとうございます」

新潟組真称寺 広川朝子

皆さんは仏様のお話は良く聞きますか？阿弥陀様は阿弥陀仏という名前の仏様です。いつもみんなのを見てくれていきます。みんなはお父さんやお母さんに怒られたり、お友達とケンカしてさみしい時や、いっぱい失敗してがっかりする時あるよね。そんな時、阿弥陀様はみんなのことをじつと見ていてくださいます。だから悲しい時、さみしい時、そっと手を合わせてナマンダーブ、ナマンダーブと阿弥陀様の名前を言ってみてください。その声を自分で聞いてみてください。その声は「わたしがついているからだいじょうぶだよ」「いつもそばにいるんだよ、一人じゃないよ」って言っている阿弥陀様のお声です。いつもそばにいて見守ってくれる人がいたら安心するでしょ。うれしくなりますよね。そしたら阿弥陀様に「ありがとう」ってお礼を申しませう。

い言葉ですね。この言葉一言で、言った人も言われた人もさわやかな心になります。私たちは、この人生の中でとてもたくさんの人に会い、さまざまな出来事に出会います。たくさんのお出あいの中で親切にしてもらったり、何かを頂いたり手伝ってもらったりしたら必ず「ありがとう」ございます」とお礼を言います。私たちはこの世の中のあらゆるものに助けられながら生きていくんです。毎日ごはんを作ってくれるお母さんやお父さん。お肉や野菜を売ってくれるお肉屋さん。牛さんや豚さん、野菜を育てる人。このようにたくさんのお人の苦勞があつて私たちは御飯を食べることが出来ます。そして、忘れてはいけないのが牛さん、お魚さんなど大切なのちを頂いているということ。お肉もお魚も野菜も、私たちに食べられるために生まれてきたのでも、食べられて当たり前なのでもありません。私たちはその大切なのちを毎日頂いて生

きているのです。だから食前・食後には、いのち一つひとつに「ありがとう」と手を合わせませう。仏様もみんなと一緒に手を合わせながらみんなのそんな姿をとつても喜んでいてくださいます。自分だけ、家族だけ良ければいい、っていうんじゃないんです。こんなお話があります。

広い森の中、たくさん動物たちが仲良く暮らしています。その中に、ピビという子鹿が群から離れたところにいました。ピビは目が見えず、仲間たちと一緒に走ったり遊んだりすることはできません。でもピビは、淋しくなんかなかったのです。ピビは小さな虫や小鳥の話し声がよく聞こえ、お話することができたからです。ある日のこと、小鳥のお母さんの泣き声が聞こえてきました。猟師の鉄砲にあたって飛べなくなっていたのです。ピビは毎日えさや水を運び、やがてお母さんは元気に飛べるようになりました。ピビはいつも森の中で困ったものの声を聞き、力になってあげていたので、「なんで他の動物とお話できるの？」と聞かれた。ピビは言い

ました。「私は皆の顔を見る事ができません。私にとってはみんな同じ生きている仲間です。静かに目を閉じてごらん。そしてやさしく相手の気持ちになると、いろいろな動物の鳴き声が耳にはいつてきます。他の動物と心を同じにすれば、皆の音が聞こえてくるんですよ。」この話を聞いた森の動物たちはみな、優しく他の動物たちの声にも耳をかたむけ、みんな仲良く聞きあいながら暮らしました。

さあみんなはどうでしょう。「みんな生きている仲間」っていつてましたよね。あれは殺されてもいい、あれはいじめられて当たり前、仲間外れにされて当たり前、そんなのちつてあるんでしょか。ピビが言ったように、優しい気持ちになつて相手の気持ちを考えてみましょう。他の人の気持ちが伝わってきます。みんな助け合つて、支え合つて生きているんです。自分一人で生きているんじゃない。みんな生かされているんです。この事を忘れずに、感謝の気持ちを忘れずに、与えられたのちを毎日大切に生きてください。